

SSKU

お元気ですか?
イリアンソス
です。

2009



※ のぞみの家 おひさま班 渡辺 行教 作

理事長の散歩道

特集 追悼

三好 順子

「色々と経験した事」

社会福祉法人イリアンソス

● のぞみの家

東久留米市下里 2-7-18

042-473-9027

042-473-9036 (F)

iriansos@qg8.so-net.ne.jp

● 活動センターかなえ

東久留米市南沢 2-20-51

042-451-0252

042-451-0262 (F)

kanae@yg8.so-net.ne.jp

● なかまの家

東久留米市中央町 2-1-47

042-472-7130

042-444-3722 (F)

na0317@zc4.so-net.ne.jp

● 生活寮「うみ」「そら」

東久留米市下里 4-2-7

042-476-3400 (F兼)

umi-sora@dj9.so-net.ne.jp

理事長の散歩道



夏の入道雲

社会福祉法人イリアンソス
理事長 山田耕一郎

百日紅の花

西多摩地区の脇道を車で走りぬけている時、民家の横に立つ百日紅の木が鮮やかな赤色の花を山盛りにつけながら、なんとなく元気なくたたずんで居るのが目に飛び込んできました。百日紅の花と言えば、夏の焼けつくような青空を背景に赤や白のドレスを輝かせているのが定番ではないでしょうか。

そういえば、近隣の農家の長男の結婚式に招待され、七月の末に式場の舞浜のホテルへ送迎用のバスで行きました。車窓から見ると、東京湾の海に波が立ち、空はやわらかな日差しで、雲もすじ雲のように横にながれていました。これを見た壮年の旦那Sさんが、「今年は夏だ、夏の雲といえは入道雲が青空に映えるのに、なんだか、秋の雲のようだ。」といます。Sさんは時間があれば田んぼに出て、稲穂の生育と空の景色を見るのが楽しみだそうだが、今年は雨が多く、日照不足が米の収穫に影響指導だとも話していました。

あるものを見る

雲を見て、百日紅の花を見て、「今年の夏は少しおかしい」と感じるのには人の観察力です。

それにしても、最近は見ても感じない子がいるように思われます。親は忙しさに追われ、子育ての中で、感情の育て方が希薄になっていくのではないのでしょうか。

(そんなことはない・・・)

(宿題はまだやってない。)

「まだ、起きています。早く寝なさい。」

「はやく起きなさい。」

「はやく顔を洗いなさい。」子を見ると怒っている。これは、立派な感情移入です。

怒り方の感情を育てているのです。

しかし、それでは不愉快になる感じ方は育てたとしても、楽しくなる感じ方、嬉しくなる感じ方は育てているのでしょうか。

乙武洋匡さんは、「五体不満足」の中で次のように述べています。

・原因不明の先天性四肢切断で生まれた。
・母子ご対面は、シヨックが大きすぎるといふ配慮から「黄疸が激しい」という理由で一か月延ばされた。

・「その瞬間」は、意外な形で迎えられた。「かわいい」母の口をついて出てきた言葉は、そこに居合わせた人々の予期に反する

ものだった。

・気を失い、倒れこんでしまいかもしれない。そういった心配は、すべて杞憂に終わった。

・自分のお腹を痛めて産んだ子どもに、一か月も会えなかったのだ。手足がないことへの驚きよりも、やっとわが子に会えることができた喜びが上回ったのだろう。(乙武洋匡著「五体不満足」講談社)

最近の生化学の進歩は、この感じ方の違いが遺伝子のスイッチをオンにしたリ、オフにしたりするところまで分かってきたそうです。

詩人金子みすずは、「昼の空に星は見えない。見えないけれどあるんだよ。」といっている。見えないものでも見る大切な感じ方が必要なのに、有るものも見えなくなっているはいないだろうか。

目に映ってはいるが、感じて観ていない。これでは、生活に良い遺伝子のスイッチが入らないことを、考え直す必要がないでしょうか。

まだ、湧き上がってこない入道雲を恋しく思いつつ・・・

2006年の旅行。新潟県の湯沢にてスノーモービルに乗る三好さん。



今年の6月、30歳の若さで三好順子さんが亡くなりました。彼女はのぞみの家に通いながら生活寮で暮らしていた利用者です。本当に頑張り屋でもともと前向きに活動を行い、様々な人たちとのつながりを大切にしてきました。今回は亡くなる前に彼女が書いた作品を掲載させていただき、わたしたちのこころに彼女の生き様を刻みたいと思います。なお、この作品は、2006年に行われたきようされん全国大会 in 東京で行われた「みんなの主張コンクール」での応募作品です。家族の了解を得て掲載させていただきました。なお、原本を少し編集させていただきました。

「色々経験した事」

東京都 のぞみの家 三好順子

「運転免許を取りました」

私は東園自動車教習所で10月から3ヶ月の予定で宿泊しながら勉強しました。障害者が宿泊できる施設があります。一般の人も通っていました。学科では車に関することや標識のことを勉強しました。何時間も授業があったり物凄く難しくて覚えるのが大変でした。実技では足が不自由なので、手動で運転しました。慣れるまで凄く難しかったです。本当に毎日が忙しくて大変でしたが一生懸命頑張りましたよ♪

ここではお風呂もあって男の日と女の日とあって、交代で自分でお風呂に入りました。洗濯物も洗濯機に入れて洗ったり干したりしました。ちゃんと食事を作ってくれる人がいて、朝・昼・晩、みんなで食堂で食べました。

学科の試験は一度目は落ちましたが二度目で合格しました。実技ではクラックが最初はうまくいかなかったり、S字で脱輪したりで運転も難しかったですねえ。上り坂や下り坂や普通にコースを何周も練習しました。その後、仮免許を取ってから路上に出られて嬉しかったですね!! 教官と色々なコースを何回も行って、終わってから今日はこうだったね、また頑張つてねといわれました。

2003年4月、「のぞみの家」の入所式のときの三好さん



教官には色々な人がいました。厳しい教官もいましたが中には優しい教官もいました。三ヶ月の予定でしたが半年以上頑張った結果、東園を卒業して今度は府中運転免許試験場に通いました。

私は平成11年6月25日に免許を取りました。取れたときは凄くメチャクチャ嬉しかったです。学科の試験で私は21回も試験を受けて21回目で合格できて嬉しかったです。大変でしたが21回目で合格ということに教官もビックリしていましたし、よく頑張ったねとほめられて嬉しかったです。

左手を骨折してしまつてから、一時運動出来ませんでした。手が治つてから、また徐々に運転していますよ。

「家で暮らしていたときの事」

自宅で私は養護学校高等部を卒業してからずっと家にいて、その当時寝たきりで全然動くことが出来ませんでした。訪問介護の人が来て、その日によって色々しました。誕生日には介護人さんが写真を撮ってくれたり、花束をくれました。家ではクロちゃんというウサギを飼っていました。退屈なときは一緒に遊んでいました。遊んでいるとくつろげて楽しかったですねえ。

他にはテレビやDVDを見たりしていま

した。主治医の先生も来てくれて診察してくれました。慣れてきたらリハビリの先生が来てくれてストレッチをしたり、足の装具を作りました。何回も何回も歩くように訓練しました。さいわい福祉センターに週4回入浴に行ったりして気持ちよかったです。センターでも歩く訓練を一生懸命頑張りましたが、どうしても立つことはできるけどもやっぱり車椅子生活で暮らしていました。国立障害者リハビリテーションセンターで車椅子の訓練もしました。競技場を何回もグルグル回りました。練習で鍛えていたら、先生に競技の参加を勧められました。競技用の車椅子を借りて出て、完走しました。10位以内に入らなかつたけど頑張りました。

「のぞみの家に入った頃の事」

のぞみの家に来る前は毎日電車とバスを乗り継いで、東京都多摩障害者スポーツセンターのプールで泳いでいました。大会があったので毎日練習に行っていました。大会ではクロールと背泳ぎで最後まで泳いで記念の賞状とメダルを貰いました。

さいわい福祉センターにはずっと入浴に



2009年春、白山公園での花見。のぞみ家のなかよし5人娘。

行ってましたが、ある日所長さんからのぞみの家に行くことを勧められました。実際に行ってみると凄いとこらだったので、直ぐに実習もしなくて通うと決めて、手続きをして平成16年8月から通い始めました。

チャレンジ・ドリームズ班で何がやりたいですかと聞かれたので、私はケーキの販売担当に決めました。今では色々な新作ケーキを考えたり、シールを作ったりしています。ケーキは村山養護学校やさいわい福祉センター・生活寮うみ、そらや商工祭でも販売しています。他に注文が入ったときにも作っています。

他のお仕事ではビーズでストラップを作ったりしてお祭りではたくさん売れます。他にはお給料の担当で入力をしたり、銀行に自分で明細書を見てお金を封筒に間違えないように頑張っています。

チャレンジ班全体でリサイクル店をやっています。私の担当は靴・かばんです。値段付けをしたり、持っていくもの行かない物を仕分けたりちよつと大変ですが、段々なじみのおばさんが出来たり売り上げはいい調子です。他にも雑貨や食器、飲み物やケーキにストラップを売ったり、みんな頑張っていますよ。

夏と冬には物品販売の仕事もあります。

おたよりやカタログを封筒に入れたり、注文の商品を仕分けたりしています。

「生活寮に入った事」

生活寮に最初から入る気満々だったけども、私は落選したのであきらめていたけど、急に入ることになりました。急に言われて入る気にならなかつたけれども、お母さん・お父さんが居なくなつたら誰が私をみてくれるのかなあと思つて生活寮に入りました。私は17年12月に初めて寮の体験をしたのですが中々なれないのに入所が17年1月1日に決まつてしまつたので、私はビックリしました。皆より遅れての入所だったので凄く緊張しました。最初はびくびくしながら6時に皆で勢ぞろいで夕食をしました。食後の自由時間では皆にコーヒーを作つてあげています。皆が凄くおいしいといってくれるので私も嬉しくなりますねえ。だから作つてあげるのが好きで楽しいですね。入浴ははじめは7時でしたが、そのあとはお医者さんから床ずれ予防のために進められて一番に入っています。お風呂に入ると気持ちが良いです。そのあとの自由時間ではテレビを見たりMDを聞いたり色々としています。

滝山団地センター前広場で行ったりサイクル久留店で、「バックや靴はいかがですか」と声を張り上げて販売している三好さん



自分で洗濯物を洗濯機に入れて洗っていますよ。洗濯物を洗うことは出来るんですが干すのは出来ないのです。スタッフの人に手伝ってもらってますが、その後は自分で畳んでいますね。

土曜日はお母さん・お父さんが仕事をしているので帰ってくるまで見ていただいています。そしてお母さんが仕事から帰ってきて、電話があつたら私も準備して帰りながら買い物をしたりしています。

最初はなれなくて発作も頻繁にあつて皆やスタッフの人に迷惑をかけていました。本当にスイマセンと感じています。段々と慣れて発作も少しずつ良くなっていききました。本当に皆に心配を掛けて悪いと思いました。

「わたしの夢・これからしたい」と

「私は運動をするのが好きだから絶対にパラリンピックに出られるようにがんばって自分で車椅子をこいでいます」

私はパラリンピックに出たいので頑張って運動をしています。

私は運動が好きなので「私の夢」は車椅子マラソンがたくて大会とかに出たいです。だからまずは筋肉をつけて、国立障害

者リハビリテーションセンターの陸上競技場で何回も車椅子で鍛えていました。徐々に歩く練習をしたり、鍛えたりしてなるべく車椅子でもと思います。パラリンピックに出たいです。だから今はたくさん車椅子をこいで運動をしています。鍛えています。

(編集担当 安達 聡)

ご冥福を祈ります。(スタッフ一同)



法人行事

『イリアンソス後援会バザー』

日時…10月11日(日)

10時～14時 雨天12日(月)に延期

場所…滝山団地センター前広場

東久留米市報9月1日号にバザー開催案内を載せましたが、日程が間違っていたため、訂正いたします。模擬店などもあります。ぜひ、いらしてください。お待ちしております。

『風変わりなかま展』

日時…12月17日(木)～20日(日)

10時～17時

(最終日は午後4時まで)

場所…スペース105・市役所向いなかまの家及び活動センターかなえの利用者・関係者の作品展を開催します。陶芸・木工・さき織り・絵画・和紙など、日頃、みんなが活動の中で制作した作品を展示します。ひとつひとつ気持ちをこめてつくりました。是非、見にいらしてください。

△お知らせ▽

・先日、「NPO法人 タケ・クリーンアップ」が、活動センターかなえ内をボランティアで清掃してくださいました。

普段なかなか手の届かないところを隅々まできれいにしてくださいました。暑い中、ありがとうございました。

さようなら「障害者自立支援法」

つくろう私たちの新法を！

10. 30全国大フォーラム

manifestoに「自立支援法の廃止と新法制定」を掲げた政党による「新しい政権」が発足しました。

障害に伴う支援を「利益」とする自立支援法は、多くの見直しを求める声に押されて実施した軽減措置によってもちこたえています。小手先の見直しは、もう通用しません。今こそ自立支援法を廃止して、みんなの声を反映した「新しい総合的な福祉法」を制定する絶好のチャンスです！

メイン会場 **日比谷野外音楽堂（東京千代田区）**

プログラム(予定) **10月30日(金)**

11:30 オープニング

12:00 開会あいさつ、来賓・連帯あいさつ、政党シンポジウム、集会
アピール

15:00 デモ(17:00 解散、終了)

※29日(木) 13:00～17:00 国会議員への要請行動

主催:10.30全国大フォーラム実行委員会

(日本障害者協議会、全日本ろうあ連盟、障害者の地域生活確立の実現を求める全国大行動実行委員会)

ご寄付を

いただきました。

(8月31日まで)

法人各施設にご寄付をいただいております。誠にありがとうございました。
いただいたご寄付は法人各施設の充実や、将来構想の資金として大切に使用させていただきます。

イトーヨーカ堂

労働組合東久留米支部 様

インテリア イシバシ 様

崎原ひとみ 様

高橋 すゑ 様

藤田 裕子 様

宮内 瀧子 様

山脇百合子 様

長澤 章子 様

所 志津男 様

但木 弘子 様

ありがとうございます。

編集後記

今年度より広報担当になりました吉田です。微力ながら参加させていただきましたことは、今までは何気なく見ていた広報誌の中には書く人の苦労や想いがたくさん詰まっているということでした。

同じく記事の中の人々にも、たくさんドラマと言葉では紡ぎだせない想いがあります。

それぞれの想いを数ページに載せて文字の力強さと無限の想像の力強さと無限の想

像で、読む人に少しでも、その空気や匂いを感じていただければ嬉しいです。

今後もより多くの方に法人の活動内容や地域で暮らす障害者の姿を知ってもらえるよう自分も頑張らせて頂きます。

新たな歴史の1ページに携われたことに感謝して、編集後記を終わらせていただきます。
(吉田 遊佑)

※連載中の「この街の自立支援法」は紙面の都合上、次回になります。

編集委員会から…

表紙を飾る作品を募集しています。

「ぜひ表紙を飾りたい」という方のご応募をお待ちしています！

《 発行 》

特定非営利法人 障害者団体定期刊行物協会
〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21
Tel 03-3416-1698 Fax 03-3416-3129

《 企画、編集 》

社会福祉法人 イリアンソス
〒203-0043 東京都東久留米市下里 2-7-18
Tel 042-473-9027 Fax 042-473-9036

《 編集委員会 》

安達 聡、池田苗生子、磯部光孝、金野博志、
多田由美、矢島正樹、吉田遊佑



定価 100円